

かえるさん

あめのひですよ

おどろうよ

河辺小学校 一年生 清水 愛紗

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

この句のかえるさんは、あまがえるでしようね。あいにくの雨の日ですが、「出番ですよ、おどりましょう」とはなしかけています。かえるさんも友だちです。あそぼうよではなく、おどろうよとしたところが面白い視点です。作者はおどることが大好きなんでしょうね。



かえるさん

あめのひですよ

おどろうよ

愛紗句

青梅市書道連盟 栗原会長に

御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

たなばたの

ねがいかなつた

山の日

第五小学校 二年生 久保 美月季

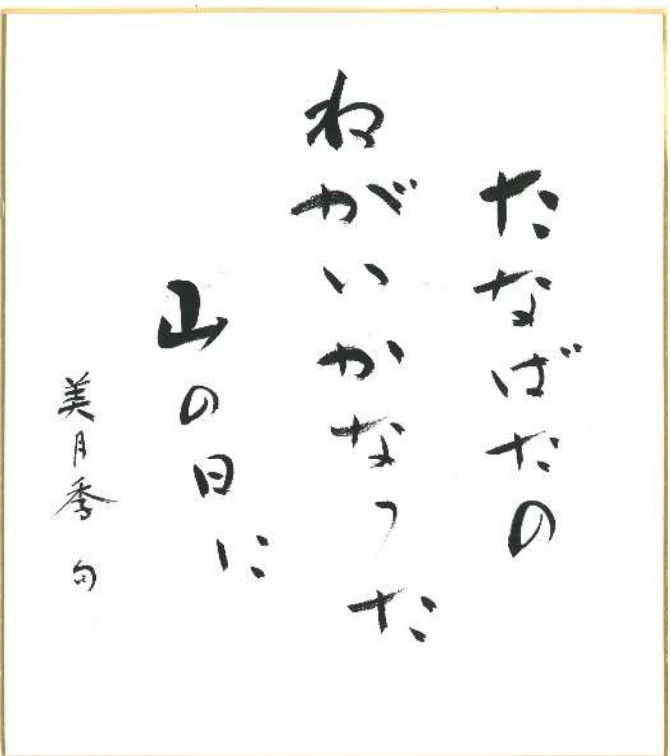
審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

教育委員会賞 (小学生)



山の日 は八月十一日、まだ新しい祝日です。ほぼ一か月前が七夕です。七夕のときに短冊に書いたねがいごとが、なんとこの山の日にかなつたということです。よかったですね。どんなねがいごとだったのでしょうか。気になると思いますが、それは作者にしかわかりません。



青梅市書道連盟 栗原会長に
御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

はしやぐ声

色とりどりどりの

うきわたち

新町小学校 三年生 牧島 みあ

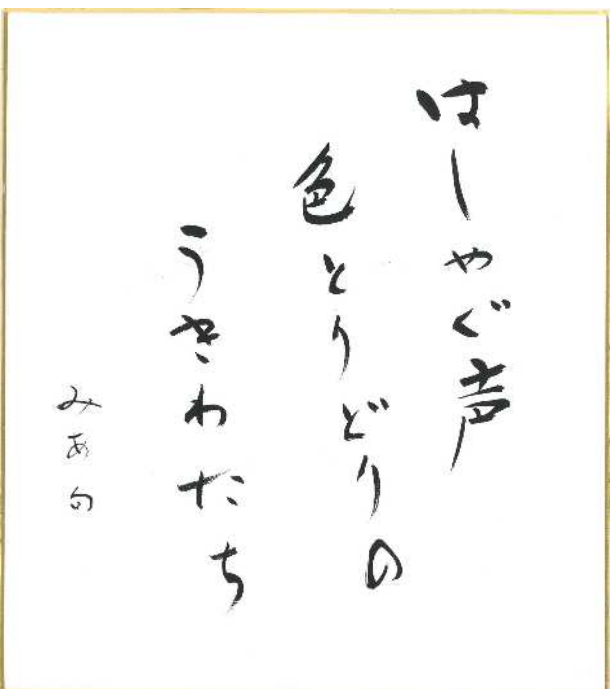
審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

教育委員会賞 (小学生)



「うきわたち」と、浮き輪を人のようにとらえま
した。ちょっと難しいですが擬人法(ぎじんほう)
といえます。色とりどりですから学校のプールで
はなく、遊園地とか海とかなんでしょうね。いろ
んな色の浮き輪が、子どもたちのはしやぐ声と
もに目の前に広がります。



青梅市書道連盟 菅原会長に

御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

ぼんおどり

上手におどる

おばあちゃん

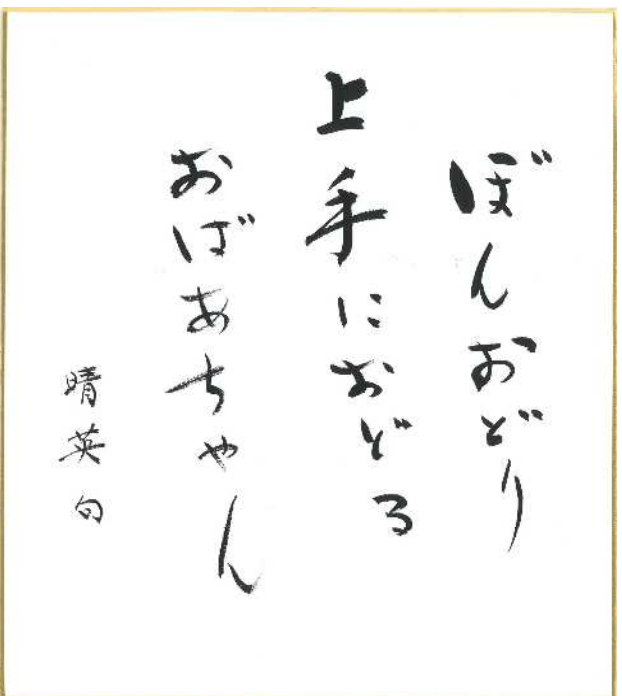
第三小学校 四年生 山口 晴英

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

その時を待っていたかのように、ほんとうに上手に踊るおばあちゃんがいます。そんなおばあちゃんに出くわした、というより、この場合は作者のおばあちゃんなのでしょうね。一緒に踊ったのでしょうか、それとも上手なおばあちゃんを誇らしく見ていたのでしょうか。

教育委員会賞 (小学生)



青梅市書道連盟 菅原会長に

御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

暑すぎて

底で水足し

待つ金魚

第二小学校 五年生 中野 松児

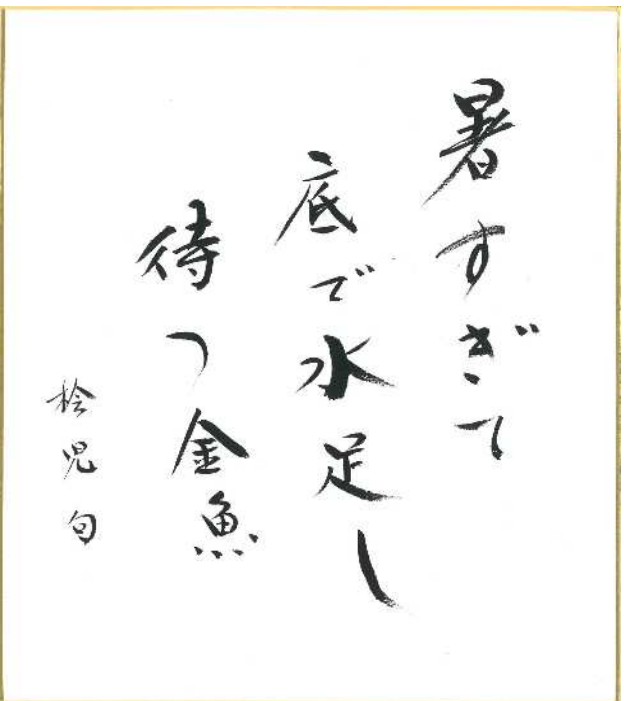
審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

教育委員会賞 (小学生)



水足しを待つ金魚は、ふつうは水面に浮いてきませんが、暑すぎてそれどころではありません。なるべく涼しそうな水槽の底のほうで、ひたすら冷たい水を足してくれるのを待っているというわけです。この句も、俳句のしやれというかおどけた感じをうまく出しました。



青梅市書道連盟 栗原会長に
御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。

鎮魂碑

南相馬の

夏の浜

吹上小学校 六年生 水野 捷仁

審査委員 青梅市俳句連盟

菅原会長 講評

いろいろな鎮魂碑が考えられますが、二〇一一年三月十一日の東日本大震災のそれと解しました。南相馬の夏の浜、からの想像です。ちようど六年生の皆さんの生まれた年になるかもしれませんね。よぶんな言葉というか動詞は用いないで、簡潔にまとめた見本の一句です。



青梅市書道連盟 栗原会長に
御協力いただき、表彰式にて色紙をお渡ししました。